

(第6条関係)

事業計画書

事業名	紙敷石みやの森 保全育成事業
団体名	松戸里やま応援団「七喜の会」

★貴団体が申請する事業について、お伺いします。

1. どのような地域課題を解決したいのか、その現状や背景などについても含めて記載してください。

【課題】

- ・日本は国土の66%が森林で残り僅かな土地に人が生活している。
- ・古来こうした森林の近くに住居を構え畑を耕し家畜を養うなどの里山を構成して来た。
- ・森林は生活に欠かせない薪などの燃料や家屋の材料として役立ってきた。ここ松戸にもかつての里山をしのぼせる樹林地が点在する。
- ・樹木の減少は排気ガス、二酸化炭素の吸収浄化や雨水吸水、浄化貯留を阻害して地球温暖化、崖崩れや洪水などの自然災害発生の危険を増幅する。
- ・松戸市の緑被率は35.6%〔1988年〕30.6%〔2005年〕と減少している。
〔引用 松戸市都市整備本部 都市緑化担当部 みどりと花の課 2005年市内の緑肥率調査〕

【現状】

- ・手入れが滞っている森にはゴミが不法投棄され周辺を散策する市民へ不快感を与えている。
- ・草木の伐採盗難などにより希少な植物が根絶やしされ森の自然植生が破壊されている。
- ・枯死や倒壊した樹木が放置され下草根笹が陽差しを遮り森の自然再生を妨げている。
- ・地権者は荒れた森が犯罪の温床、火災発生源、環境破壊、壊倒木などによる通行人への被害などを憂慮している。

【背景】

- ・周辺の都市化開発が進み樹林や田畑が宅地化、工場誘致用地に変わってきた。
- ・次世代の農業離れと共に農業従事者の高齢化が進み農林業の維持が難しくなっている。

2. それらの課題を解決することで、どのような地域にしたいのかを記載してください。

- ・森を再生して多くの市民が森に関心を持ち生活圏の一部として活用できる様にする。
- ・「健康と憩いのオアシス」として再生、市民共有の森として守り育て次世代に引き継いでいく。
- ・周辺に残る畑や里山風景と森をつないで自然環境豊かな緑の町松戸の発信地域とする。
- ・近隣のゆいの花公園、園芸生産研究所と合わせた“みどりの回廊エリア”をつくる。

3. どのような地域課題の解決につながるのかが、分かるように事業内容を記載してください。

【事業内容】

- ・森の埋蔵、投棄ゴミの回収清掃、投棄防止や再生活動などを呼び掛け紹介する標識板の設置。
- ・森外周路の除草、枯壊倒木や延びた枝の伐採、竹垣設置、荒れた市道の補修。
- ・草本植生図による適正な樹木の計画的剪定。枯壊倒木、電線に架かった枝など危険木の伐採。
- ・下草刈り、不要枝の伐採などによる採光取り込み。階段、スロープ取り付けなど散策路の整備。
- ・植生調査、植生図の作成、小動物の生態調査、樹木名板取り付け、ゾーン毎の案内板作成。
- ・以上の活動を毎月第一火曜日、第二木曜日、第四土曜日の定例活動日に実施する。

・以上の活動を毎月第一火曜日、第二木曜日、第四土曜日の定例活動日に実施する。

【活動内容】

- ・平成24年3月「春休み森の散策会」を開催〔本森を初めて近隣市民の方々へ紹介〕して森の役割と保全の必要性を理解して頂く。
- ・5月「松戸里やま応援団オープンフォレスト」開催。
- ・森づくりの先進事例見学、インストラクター講習会などへの参加。
- ・刈り込み機など用具の使用方法、取り扱い知識技能の習得に向けた講習会参加。

・想定されるスケジュール（事業内容について、具体的な取り組みを下記のとおり記載してください）

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・森林インストラクターによる診断 ・里やま応援団オープンフォレスト開催準備〔5月〕 ・整備、調査観察、記録。前期ゴミ回収分別〔6月〕 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例活動日に実施〔第1火曜、第2木曜、第4土曜日〕 ・里やま応援団、石みやの森のリーフレットなどによる活動紹介と協力会員募集。 ・ゴミ投棄防止の呼び掛けポスター作成 ・樹木名称板の作成取り付け ・森内の散策路整備、枯倒木などの伐採
7月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み散策会開催準備 ・道具の取り扱い講習会参加 ・整備、調査観察、記録など 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例活動日に実施〔第1火曜、第2木曜、第4土曜日〕 ・市松グランド側市道の安全整備〔竹垣補修、枯倒木の処理など〕 ・森内の散策路整備、枯倒木などの伐採 ・他会の森整備作業、講習会参加
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ・「花とみどりの回廊ウォーク秋」開催〔11月〕準備 ・森林インストラクターによる診断 ・整備、調査観察、記録など ・保安全管理についての講習会参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例活動日に実施〔第1火曜、第2木曜、第4土曜日〕 ・行事計画検討 ・森内の散策路整備、枯倒木などの伐採 ・各種講習会、先進事例見学会参加
1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ・「花とみどりの回廊ウォーク春」開催〔4月〕準備 ・整備、調査観察、記録など ・次年度活動計画策定 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例活動日に実施〔第1火曜、第2木曜、第4土曜日〕 ・行事計画検討 ・年次総会開催

4. 事業に取り組む上での達成目標を記載してください。

※事業目標は、できるだけ数値などを用いて、具体的に記載してください。

- ・定例活動日〔月三回〕による定期的保全整備実施。
- ・森の整備率を75%達成する。〔23年度50%達成、25年度100%目標〕
- ・24年度に市民参加の「花とみどりの回廊ウォーク」の実施検討。
- ・市の主催する協働事業行事へ積極的に参加して活動の理解を広げ新たな会員を増やす。

〔24年度 新規会員 2名増員〕

5. 助成金終了後、どのような活動に取り組むのかを記載してください。

- ・ 樹齢年数の高い枯木などの伐採作業に必要な技能講習〔チェーンソー、刈り払い機など〕、取り扱い技術講習会受講。
- ・ 森の特徴を生かした〔常緑樹林区域と落葉樹林区域がある〕計画的整備。
- ・ 散策会観察会などのイベントを継続開催し、森の保全活動にたいする市民の理解を広げ一緒に汗を流せる会員を増やす。
- ・ 健康と癒しが得られ、幼児やお年寄りも安心して散策できる優しい森を目指した活動推進。

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
			14,000円
	自己資金合計 (a)	14,000円	
市	助成金申請額 (b)	100,000円	市民活動助成金【協働推進課】
	その他	30,000円	みどりと花の基金助成金【みどりと花の課】
	収入合計 (c) (a+b)	144,000円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1事業あたり 10万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
	交付対象経費	作業用具等	24,400円
ターニングストラップ 1 15,000円			
ポイズンリムーバー 4 4,400円			
資材等		45,000円	木製杭 [30本] 12,000円 シュロ縄 [4巻] 2,000円 麻ロープ 6,000円 樹木名板材料 15,000円 ペンキ等塗料 10,000円
森の散策会、里山オープンフォレスト等イベント開催費用 インストラクターによる森の診断	50,000円	紙・マジック・プリンター インク・広報ポスター製作等 30,000円 アドバイザー謝礼金 2名 20,000円	
		対象となる経費合計額 (d)	119,400円
その他	広報通信資料費	10,240円	通信費 [500円×4人] 2,000円 会議費 [500円×4回] 2,000円 資料作成費 4,000円 郵送料 [80円×14名×2回] 2,240円
			飲料水補助費
	その他経費合計額 (e)	24,600円	
	事業費 (f) (d+e)	144,000円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。